

愛媛県立川之江高等学校 令和7年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術 I
単 位 数	2 単位	学年・類型	第1学年・全クラス（選択）
使用教科書	高校生の美術1（日本文教出版）		
補助教材等			

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指します。

2 学習方法

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにします。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにします。
- 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点 \ 評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	○ワークシート ○作品
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○ワークシート ○作品
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○授業態度

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業態度やワークシートの内容、作品を評価し、総合的に行います。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均して行います。

4 学習のポイント

- 人によって美術へのかかわり方は様々ですが、どのような生活を送っていても、どのような仕事に就いても美術を身近に意識することで、普段の何気ない毎日の中に楽しさや安らぎが感じられ、心豊かに生きていくことにつながっていきます。
- 美術と豊かに関わるためには、造形を豊かに感じ取るための多様なアンテナを持つことが必要です。普段見慣れている校庭の樹木も、よく見ると季節や天候などにより様々に表情を変え、毎日同じ情景ではありません。雨上がりに太陽の光が当たった時には、みずみずしい緑色に輝き、何とも言えない美しさを感じることがあります。そのような変化に意識を止め、美しさを感じ取るためには、造形や美術を捉える視点などを豊かにすることが必要です。
- 造形や美術を捉える視点をたくさん持っていれば、普段の生活の中で様々な造形や美術に目が留まり、心が動かされます。表現や鑑賞の活動を通して、美術に対する見方や考え方を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育んでいきましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	美術とは何か？	・絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、それが自己の体験や価値観などから生じることに意識的になり、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められるようにします。 ・「眠れるジプシー女」を鑑賞し、感じたことや考えたことを発表し合ったり、教科書に掲載された三つの問や高等学校で学ぶ美術について考えたりします。
	身近なものを描く	・身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。 ・教科書掲載作品などから工夫を読み取り、モチーフをしっかりと観察して形体と色などの特徴を捉えて、表現方法を工夫して描けるようにします。
5	視点と表し方	・複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞できるようにします。 ・ホックニーの写真を鑑賞し、表現されている情景を理解し不自然な点などを発表し合ったり、同じような見方で他の作品も鑑賞したりして、作者の意図やどのように画面が構成されているかを考え、説明できるようにします。
	想像を形に	・想像や空想したイメージなどを基に、形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。 ・教科書掲載作品などから工夫を読み取り、不思議な世界を表すためにコラージュの特性や効果を生かして不思議な世界のよさや美しさを考え、想像の世界を表現できるようにします。
6	デザインの世界	・目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められるようにします。 ・「デザイン」という言葉から連想することについて発表し合い、デザインの機能について理解できるようにします。
7	ポスターで伝える	・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりします。
8		・ポスターの役割と機能について考え話し合い、人に伝えたいメッセージに関して
9		構想を練り、ポスターを完成させます。
10		
11	抽象彫刻で表す	・自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりします。 ・教科書掲載作品から工夫を読み取り、「喜・怒・哀・楽」を表す形体や構成の構想を練り、動勢や塊、量感や質感などを表現することができるようにします。
	日本美術	・屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、説明できるようにします。 ・「洛中洛外図屏風」を鑑賞し、屏風や襖絵、掛け軸の位置や役割について考え、日本の美術の特色について説明できるようにします。

12		
1	パッケージのデザイン	・目的や条件、美しさや使いやすさ、入れるもののイメージなどを基に、形や色彩などの効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりします。
2		・教科書の参考作品を鑑賞し、中に入れるものを決め、強度や安全性、可搬性などを考えてパッケージを制作します。
3	これからの美術と私	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすか考えます。 ・著作権と肖像権や美術館の役割などについて考えます。